

タイへの進出経験を活かしてインドネシアに挑戦！

(エヌティー精密 株式会社)

会社概要(平成24年9月現在)

- 所在地:愛知県高浜市芳川町1-7-10
- 代表者:代表取締役 内藤 祐治
- 資本金:4,390万円
- 売上高:20億円
- 従業員数:90名
- URL:<http://www.ntseimitsu.co.jp>

①事業概要

<自動車、航空機部品の製造>

ロケット、航空機部品、ディーゼルエンジン部品、自動車用ABS部品、油圧サスペンション部品、オートバイ部品、FA機器部品、その他精密部品の製造及び生産技術開発を行っている。

②海外展開概要

<東南アジアで工場・販売会社を設立>

海外展開のきっかけは、アセンブリメーカーが国内市場の縮小に対応して、海外へと進出するのに合わせて同社が現地生産をすることで部品加工の受注を確保するためであり、平成14年に独資で自動車用ディーゼルエンジン部品を生産するタイ工場を設立した。

現在は日本人5名と現地従業員500名で生産運営をしている。日本人従業員は営業とチェック、日常業務は現地従業員が行っている。平成23年に、今後市場として有望なインドネシアへ販売会社を設立した。タイで生産しインドネシアで販売という進出モデルを計画していたが、顧客メーカーのインドネシアへの工場進出に伴い新たにインドネシアでの生産に乗り出すことになった。

タイでの工場運営にあたって文化、常識が違うこと、言葉が通じず意思疎通ができないことによるコミュニケーションの難しさに直面した。その対策として、核となる現地人を選定の上教育を行い、さらに日本での研修を実施し、その人材が他の現地従業員を教育指導する仕組みを作った。また勤務評価が優秀な現地従業員のインセンティブとして半年ごとに数名ずつ日本での実習を実施し、仕事のみならず日本人や日本文化を理解してもらえる環境を整備したことが現地従業員の就業率の安定につながっている。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

モノを作るだけでなく、会社を維持していくためにも人材教育は必要であるため、タイと同様にインドネシアにおいても、核となる人材を先ず育てる人材教育から始めている。現地生産の現場では、宗教も理解する必要がある。タイでは仏教の宗教行事を勤務時間に取り入れ、従業員の利便性を考えているが、インドネシアでも、イスラム礼拝のための集会所を設け、礼拝の自由を与えることにしている。

④今後の事業展開について

「十分な仕事量を確保した進出ではなかったの、日本では取引のできない大企業や、系列外の日系企業との取引も拡大していかなばならない。インドネシアの生産が軌道に乗れば、タイを含むアセアンへの対応が可能になる。」と言う。

NT エヌティー精密株式会社

▼本社工場



▼タイ工場



▼取り扱い商品



(平成24年9月現在)

データ出所: 中部経済産業局